

しつちを守るために

人が、たきぎにするために切ったり、山さいやきのこを取るため
に、手入れをしてきた森を、里山と言うんだ。大森奥山湿地群のまわりも里山だったんだよ。ぼくたち生き物たちは、人とともに生きてきたんだ。だから、これからも、湿地とそのまわりを手入れして、見守ってくれたら、ぼくたちは安心できる。

「大森奥山湿地群を守る会」は、湿地群のある可見市桜ヶ丘のまわりに住む人たちを中心につくられたグループだよ。湿地群の生き物や水の様子を調べて記録したり、湿地群に来る人のための道を作ったり、案内をしたりする活動をしているんだ。

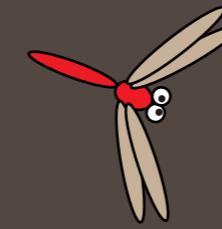


・湿地の水位調節、水を貯めたり、湿地の下の土を保つなど。
・湿地の土を保つ土壌改良、水を貯めたり、湿地の下の土を保つなど。
・湿地の土を保つ土壌改良、水を貯めたり、湿地の下の土を保つなど。
・湿地の土を保つ土壌改良、水を貯めたり、湿地の下の土を保つなど。
・湿地の土を保つ土壌改良、水を貯めたり、湿地の下の土を保つなど。

みんなでやること

日本では渓流水湿地が主で、渓流水湿地は、中でも東海地方、特に愛知県で多くあります。この渓流水湿地は、多くの生物が棲息する重要な生息地です。しかし、近年では、河川改修や土砂堆積による干涸や、農地化による開拓によって、湿地が減少の一途を辿っています。そのため、湿地の保護と再生が急務となっています。

みんなでやること



おおもりおくやましつちぐん

大森奥山湿地群 たんけんの手引き

大森奥山湿地群を守る会
(デザイン・編集: 愛知学院大学富田研究室)



湿地を守るために、多くの住民が活動している。特に、湿地の土壌改良や、水質浄化工事など、直接的な取り組みがある。また、湿地周辺の自然教育や、環境啓発活動も行われている。中でも、日付記念日には、多くの人々が参加する「大森奥山湿地群守護祭」が開催される。

湿地を守るために、多くの人々が活動している。特に、湿地周辺の自然教育や、環境啓発活動も行われている。中でも、日付記念日には、多くの人々が参加する「大森奥山湿地群守護祭」が開催される。

湿地を守るために、多くの人々が活動している。特に、湿地周辺の自然教育や、環境啓発活動も行われている。中でも、日付記念日には、多くの人々が参加する「大森奥山湿地群守護祭」が開催される。



みんなでやること

おおもりおくやましつちぐん



どんな花が咲いてる?



シデコブシ(3~4月)



ショウジョウバカマ(3~4月)



ハッチョウトンボの
オス(上)とメス(下)



ヒメタイコウチ

水辺の虫

この湿地には、いくつかのめずらしい水生昆虫(すいせいこんちゅう)がいます。ヒメタイコウチは、2cmほどの大きさで、あさい水の中にいます。ハッチョウトンボも2cmほどの小さなトンボで、オスは赤くメスは茶色のしまもようです。



ハルリンドウ(3~4月)



コバントンボソウ(6月)



サギソウ(7~8月)



サワシロギク(8~9月)



モウセンゴケ



トカイヨモウセンゴケ



ヒメミミカキグサ



ホザキノミミカキグサ



ミミカキグサ

食虫植物

養分(ようぶん)の少ない湿地では、虫をとらえて消化し、栄養(えいよう)をおぎなう植物がみられます。モウセンゴケのなかま(上)は、葉のねばねばしたえきで虫をとらえます。ミミカキグサのなかま(下)は、地下にあるふくろで水中の小さな生物をとらえます。ヒメミミカキグサは東海地方で数か所しかみられません。

たんけん地図

